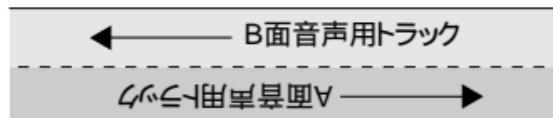


ビジネステープレコーダーと民生テープレコーダーの互換性について

ビジネステープレコーダー(以下BM)のテープフォーマットには、頭出し用のインデックス信号とテープ速度に特長があります。

図1.一般的テープレコーダー
モノラル機

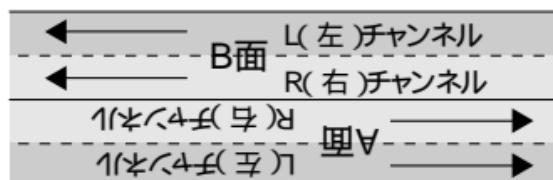


コンパクトカセット : 4.8cm/秒

マイクロカセット : 2.4cm/秒または1.2cm/秒

マイクロ機はテープの走行方向がこの図とは左右逆となります。

ステレオ機 BM-76も同様



コンパクトカセット : 4.8cm/秒

マイクロカセットには、現在ステレオ機はありません。

一般的テープレコーダーで録音したテープをBMで再生したりその逆を行う場合には以下の点にご注意ください。

一般的テープレコーダー

図1のトラックフォーマットとなっています。

BM-76の場合

インデックス機能を備えず、一般テレコのテープと互換性があります。

一般テープレコーダーで録音したテープをBMで再生する場合のご注意事項

テープ速度を録音時の速度に合わせてください。
ステレオ録音されたテープは右チャンネル音声しか再生されません。(BM-76以外)

BMで録音したテープを一般テレコやBM-76で再生する場合のご注意事項

Lchには音声は記録されておらずインデックス信号が聞こえてしまいます。